

# 開業開業

## ポケットバーナー使って

これまで、「トーチランプ」「キャンピングバーナー」を使うこと  
 によってかなり、実験の幅がひろがってきた。たとえば、食塩の融解に、  
 あるいは「岩石を融るかす」「金属をとろかす」、(酸素ポンプを使うと  
 さらに高温になる)、等々に、ガスバーナーにくらべると、どこでも使  
 えること、簡単に取りあつかえること、高温になることなど、今や理科室  
 の必需品なのである。

ところが、ここに、さらに、  
 授業に使い、携帯に便利な、  
 「新兵器」をみつけたのだ。  
 「ポケットバーナー」の名称  
 で、雑誌に広告(科学朝日)  
 が出ていたのである。通信  
 販売である。定格によると  
 燃焼温度、1300°Cとなってい  
 る。これまで、「トーチラン  
 プ」でやっていたことはでき  
 ない。小型なので、ほ

んとくにポケットに入れていって、教室の授業のときで、ちよいと  
 とり出して、とやれそうである。また、炎が、細く出るので、ガ  
 ラス細工などの小さいこともやるのに利用できそうである。ガスの  
 補充が、市販のガスライター用ポンプでできるといのも売にいっ  
 こいる。

